

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	水田農業振興緊急整備事業	都道府県名	北海道	地区名	中長都第2
-----	--------------	-------	-----	-----	-------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	105,000千円	
年 効 用	②	7,915千円	
廃 用 損 失 額	③		廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	31 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0584	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	135,531千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.29	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農産物の生産量の増加	作物生産効果	4,015	水田の排水改良による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、小麦、大豆、馬鈴薯、甜菜、牧草
営農経費及び維持管理費の節減	営農経費節減効果	3,082	ほ場の排水改良による労働時間及び機械稼働時間の短縮に伴う経費削減 対象作物：水稲、小麦、大豆、馬鈴薯、甜菜、牧草
	維持管理費節減効果	262	排水施設の改修に伴う維持管理費の節減 対象施設：排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	556	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持
計		7,915	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	水田農業振興緊急整備事業	都道府県名	北海道	地区名	東裏西
-----	--------------	-------	-----	-----	-----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	252,000千円	
年 効 用	②	19,232千円	
廃 用 損 失 額	③		廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	31 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0584	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	329,315千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.30	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農産物の生産量の増加	作物生産効果	10,823	水田の排水改良による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稻、小麦、大豆、小豆、馬鈴薯
営農経費及び維持管理費の節減	営農経費節減効果	6,894	ほ場の排水改良による労働時間及び機械稼働時間の短縮に伴う経費削減 対象作物：水稻、小麦、大豆、小豆、馬鈴薯
	維持管理費節減効果	289	排水施設の改修に伴う維持管理費の節減 対象施設：排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	1,226	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持
計		19,232	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	水田農業振興緊急整備事業	都道府県名	北海道	地区名	武徳北
-----	--------------	-------	-----	-----	-----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	892,500千円	
年 効 用	②	69,293千円	
廃 用 損 失 額	③		廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	30 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0597	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	1,160,687千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.30	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農産物の生産量の増加	作物生産効果	46,675	水田の排水改良による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、小麦、大豆、小豆、馬鈴薯、玉葱
営農経費及び維持管理費の節減	営農経費節減効果	22,618	ほ場の排水改良による労働時間及び機械稼働時間の短縮に伴う経費削減 対象作物：水稲、小麦、大豆、小豆、馬鈴薯、玉葱
計		69,293	